



たまき 社協だより

2024.2 No.89

編集・発行 社会福祉法人 玉城町社会福祉協議会
〒519-0433 玉城町勝田4876番地1
TEL0596-58-6915 / FAX0596-58-6916
ホームページ <http://tamasya.or.jp/>
E-mail tamasya@amigo2.ne.jp

玉城町社協理念 ～笑顔広がる 人づくり 地域づくり つながりづくりの実現に向けて～

地域福祉座談会



地域福祉座談会

「誰もが安心して、
元気に暮らせる
まちをめざして」

「共生社会の実現」をめざし、障がい者や高齢者の人権をはじめ、さまざまな視点でともに考え、語り合う地域福祉座談会を今年も小学5年生、中学2年生、地域住民の代表50人あまりが参加して11月28日、玉城中学校体育館で開きました。（子ども支援ネットワーク共催）

座談会を前に、各学校では県立玉城わかば学園 越知ひとみ校長や身障者就労センター上々の利用者から話を聞き、それぞれのクラスから意見を持ち寄りグループに分かれ意見を出し合う形で行われました。

「自分からあいさつをすすんで
する大切さ」や「知らず知らずの
間に偏見を持っていないか」など、
日ごろ当たり前前にできてい
ないことや新しい気づきなどあ
り、子どもたちの主体性や実践
行動力を高める良い機会となり
ました。

なお、当日の様子は、玉城町
社協のYouTubeチャンネル
で公開予定です。チャンネル
登録をお願いします。

赤い羽根共同募金 ご協力の御礼

今年も10月から各自治区をはじめ、職場などから赤い羽根共同募金活動への協力をいただき、ありがとうございました。

皆さまからの温かいご支援・ご協力のもと

1,345,567円

(12月28日現在)

が、寄せられました。本当にありがとうございました。

ご協力いただいた募金は、県共同募金から配分金として還元され、玉城町の地域福祉事業に役立たせていただきます。

なお、赤い羽根共同募金の運動期間は厚生労働大臣の告知により、10月1日から翌年の3月31日までの6か月間とされています。引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

三重の赤い羽根共同募金

「百貨店プロジェクト」

令和5年9月28日、ふとんの橋本様より、22,670円の募金をいただきました。

今後、地域福祉活動等に活用していきたいと思います。募金ありがとうございました。

歳末街頭募金 歳末まごころ訪問

12月23日には、町内の各ボランティア団体による歳末街頭募金運動を、味工房アグリ、グッディの町内2カ所で行いました。皆さまのご協力のもと、

15,950円

の温かいご協力・ご支援いただきました。これは、歳末に独居高齢者の方へ、「まごころ訪問」として活用し、年の瀬迫る12月30日、民生委員の方々が184名の高齢者宅を訪問しました。



歳末街頭募金



歳末まごころ訪問



みんなで孤立をなくせ 超高齢社会の 問題解決をゲームで学ぶ

地域の人々が抱える社会課題解決の過程を体験できるボードゲーム（コミュニケーションピング）を通して、地域の支え合いに目を向けてもらおうと、町民生委員児童委員協議会は10月4日、研修会を開きました。ゲームは一般社団法人コレカラ・サポート（千葉県松戸市）が令和2年に開発し、ボードとカードを使い、6人ほどのグループで行うもので、「自治会長」「喫茶店のマスター」などの地域住民が、高齢者にまつわる様々な社会的孤立を解決していきます。

この日は、日頃の地域福祉の相談ごとを中心に活動する民生委員・児童委員ら33人が参加しました。最初はゲームのルールを理解するのに戸惑っていましたが、サポーターとして町地域共生室などから指導をうけ、悩ましい問題にグループ全員で解決の糸口を見つけていました。

委員からは、「ゲームとはいえ実際に起こっていることばかりで悩ましい。一人では解決できない」「実際には話したくない人や聞き出しにくい人もいます。聞き出す力も必要に

なる」など、社会的な孤立から解消されるためのパイプ役として、数々の意見が出ていました。また、同ゲームを元気ですたまき委員会でも実施しました。



民生委員児童委員協議会



元気ですたまき委員会

しあわせスタンプラリー スペシャルウォーキングday!!

秋晴れのもと、11月12日にふれあいウォーキングを健康しあわせ委員会、元気ですたまき委員会、たまき文化スポーツクラブが共催で開催しました。

スタンプラリーは村山龍平記念館、田丸神社、小林政太郎生家、三縁寺、ゴールの玄甲舎まで約3kmのコースです。

普段見慣れた景色も、意識しながらながめるといろいろな発見があり、玉城町の魅力を再発見しながら総勢82名でウォーキングを楽しみました。

ゴールの玄甲舎では、ぜんざいのふるまいとたまき人^{びと}バンドの演奏があり、和気あいあい、人々のふれあいが嬉しいウォーキングとなりました。



ウォーキングの様子



たまき人^{びと}バンド演奏



ぜんざいのふるまい

たまきつながるマルシェ in お城広場

今年10月から12月の間に行われた「たまきつながる博覧会」の特別プログラムのひとつとして、町内の各種団体の多様な取り組みをより多くの方に知っていただくため「たまきつながるマルシェ」が11月18日開催されました。

「見て、知って、体験して人とながる」をコンセプトに、活動の紹介や体験、展示、物販、ステージ披露などが行われるなか、元気ですたまき委員会も「たまき人^{びと}クイズ」を実施しました。

クイズは、「たまき人^{びと}のマークには何が描かれていますか？」や「あいさつ運動は毎月第何曜日に行っていますか？」などの問題が出題されました。

玉城町内に永くお住まいの方でも分からない問題があり、今後も委員会では、たまき人^{びと}として玉城のまちの良さをもっと周知していく必要があることも分かりました。一方で、子どもたちは、あいさつ運動にもたくさん参加していることもあり、いつも明るく声かけができていたことも分かりました。



たまき人^{びと}周知の様子



たまき人^{びと}クイズ

障がい者の気持ちを伝え 車いす体験

当事者や体験者から生の声を聴き
社会や福祉を学ぶ授業が小学校には
あります。今年も10月26日に有田小
学校4年生の35名と、12月5日に外
城田小学校4年生の34名を対象に車
いす体験を実施しました。

両日とも自身が車いすに乗る町社
会福祉協議会の西野事務局長が講師
役で、自らの障がいから経験してき
たことや支援の仕方などを児童と一
緒に考え、あいさつや声かけなどコ
ミュニケーションの大切さを伝えま
した。

講義のあと、2つのグループに分
かれ、自走・介助車いす体験を行いま
しました。普段あまり触れる機会のない
車いすに乗ってみて操作したり、
後ろから押して介助したりして、障
がい者や高齢者が使用する不便さや
それを取り除く術を学んでいまし
た。

子ども達は体験内のグループワー
クで「あいさつをすることが大事」
「障がいがあるからといって必ず困
っているわけではないので、何か
お手伝いしましょうか」と声をかけ
たい」と話していました。



介助体験



グループワーク

みんなが楽しめるゲーム ボッチャ体験

今年度はじめて11月13日、外城田
小学校3年生の37名を対象にボッチ
ャ体験を実施しました。
小学3年生は国語でパラスポーツ
について勉強を行っています。

講師として三重県障がい者スポー
ツ支援センターの方やパラスポーツ
指導員さんをお招きし、ボッチャの
ルールなどを教えていただきました。
玉城町からは人権擁護委員の方
々にもご参加いただきました。

ルール説明のあと、グループに分
かれ、ボッチャ体験を行いました。
子ども達はボールに触れ、「思った
より柔らかい」「ボールが重たい」
などの感想を述べていました。実際
にボッチャを体験することでよりパ
ラスポーツへの理解が深まりまし
た。



ランプ（勾配具）を使った体験



試合の様子

防災体験教室 タウンウォッチング

町内全小学校で防災体験教室、下外城田小学校で防災ボランティア、三重県教育委員会のご協力のもとタウンウォッチングを行いました。

〈防災体験教室〉

外城田小学校

(3年37名、4年34名、6年38名)

有田小学校(4年35名)

下外城田小学校(4年17名)

簡易トイレ設置体験、風呂敷リュックづくり、卵の殻踏み体験、ロープワーク、防災備蓄倉庫等の見学などで体験内容を考え体験を行いました。

◎簡易トイレ設置体験…小学校の防災備蓄倉庫に実際に入っている簡易トイレの組み立てを練習しました。

風呂敷リュックづくり…風呂敷でリュックをつくったりして風呂敷の様々な活用方法を学びました。

◎卵の殻踏み体験…新聞紙でスリッパを作り体験しました。割った卵の殻の上をまず、素足で歩き、そ

の後、作った新聞紙スリッパを履いて歩き比べました。素足では痛みを伴いますが、新聞紙で作ったスリッパは痛みもなく、その効果に皆感心している様子でした。

◎ロープワーク…肋木を活用しながら本むすび、巻きむすび、もやいむすびなどの結び方を学習しました。

◎防災備蓄倉庫等の見学…町役場の防災対策室にご協力いただき、防災備蓄倉庫には何が入っているのか、どのような方が利用するのかをご説明いただきました。

どの体験も実践的なもので、子ども達が真剣に学ぶ姿が見受けられました。来年度以降も継続し、防災意識の向上を図っていききたいと思えます。

へタウンウォッチング

南海トラフ地震や津波、頻発する台風や局地的大雨等の自然災害から自分自身を守るために、体験型防災学習を通して、防災の知識を身に付けることを目的に防災体験学習を行っています。

下外城田小学校で3年生(15名)を対象に11月21日、県教育委員会と

防災ボランティアが協力し、タウンウォッチングと防災マップづくりを行いました。

児童自らが地域へ出向き、通学路に危険なものはないか、安全なところはあるか、役に立つものはなにかを探しました。

玉城町防災ボランティアは長年にわたり子ども達の防災教育に力を入れています。

今後子ども達及び地域住民の防災意識の向上のため活動に取り組んで行く予定です。ご興味・ご関心をお持ちになられた方は玉城町社会福祉協議会(☎58-6915)までお気軽にお問い合わせください。



簡易トイレ設置体験



防災備蓄倉庫見学



ロープワーク

玉城中2年生を対象に 防災講座

自然災害発生時に落ち着いて行動できるか、防災・減災の基本的な知識を習得するため11月10日、玉城中学校2年生を対象に防災講座を開きました。

町社会福祉協議会と防災ボランティアでは小学校高学年を対象に防災体験を行っています。昨年度から中学生まで対象を広げ準備を進めてきました。

講座では2年生158名を対象に町の防災アドバイザーで三重大学大学院工学研究科川口淳准教授からお話いただいた後、グループに分かれ、災害対応カードゲーム「クロスロード」を体験しました。



三重大学 川口准教授



クロスロード

このカードには、飼い犬を連れて避難所に来た人を受け入れるか、避難所に3,000人居ます、2,000食しかない食料をあなたは配りますかなどに対して「Yes」か「No」で答え、その答えをグループのみんなで真剣に議論し共有し合うというものです。

これまで小学生で経験してきた参加型の訓練から、自ら考えて行動できる知識を習得する講座へとレベルも上がり、これからの町の防災・減災の一助となることを期待しています。

玉城町防災ボランティア みえの防災大賞を受賞

町内で長きにわたり自発的に防災減災の啓発活動を行っている玉城町防災ボランティアが「みえの防災大賞」を受賞し12月17日、一見三重県知事から表彰され、12月22日、報告のため町長を表敬訪問しました。

防災ボランティアは、小学生に卵の殻踏み体験などの防災体験やタウンウォッチング、中学生には三重大学の川口准教授を招いた防災講座、町主催の避難所運営ワークショップや避難訓練への参加などを展開しています。

なかでも玉城町版避難所運営ゲーム（HUG）を作成し、小学生だけでなく住民に対する防災意識向上に努めると共に、町と連携して避難所開設・運営マニュアル作りにも取り組んだことなどが高く評価され、今回の受賞となりました。



町長への表敬訪問



一見知事からの表彰

わが町クリーンアップ

誰もが安心して暮らせる地域づくりの一環として、自分たちの町は自分たちの手できれいにする活動を12月9日に行いました。

民生委員児童委員協議会、各ボランティア団体のご協力のもと、総勢16名で外城田地区のアスパラ周辺と下外城田地区の宮古地区周辺の美化活動を行いました。

ウォーキング、交流も兼ね、道路も心もきれいにあらわれるような活動となりました。



わが町クリーンアップの様子

老人クラブ連合会

恒例の門松づくり

12月24日、保健福祉会館入口の門松づくりが行われました。

風も強く吹く寒い中、老人クラブ連合会の7名の方により、立派な門松を作っていただきました。

会員の皆さま、ありがとうございました。



老人クラブ連合会の皆さま

玉城町シルバー人材センター 作業者大募集!

あなたの知識と経験を

シルバー人材センターで活かしてみませんか?

人材センターでは、高齢者の積極的な就業促進を行い、活動に喜びや生きがいを感じ、健康な体を維持していくことを目的にセンター運営を行っています。

入会資格

玉城町に住んでいる概ね60才以上の方で、健康で働く意欲があり、センターの趣旨を理解し賛同できる方

入会方法

玉城町社会福祉協議会までお越しいただき、登録用紙のご記入をお願いいたします。ご来館いただければ、人材センター担当までご一報ください。

配分金

就業した内容により、配分金という形で支払われます。(作業内容によって異なります)

お問い合わせ先

玉城町シルバー人材センター

☎ 58-6915

しごとの内容	就業場所	日 数	対 象
清掃・洗濯作業	玉城町内施設	1 か月に 10 日程度	女性の方
草取り作業	玉城町内	月によってかわります	男性・女性
草刈り作業	玉城町内	月によってかわります	男性・女性
剪定作業	玉城町内	月によってかわります	男性・女性

現在、特に上記の作業を行っていただく方を募集しています。



第22回 玉城町社会福祉大会

今年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、講演会、顕彰、福祉の作文発表、福祉協力校の発表等の内容で開催いたします。

【日 時】令和6年2月11日(日)

9:30～12:00

【場 所】玉城町保健福祉会館 ふれあいホール

【記念講演】テーマ：コロナ明けのコミュニティ活動のヒント

講 師：一般社団法人 コレカラ・サポート

代表理事 千葉 晃一 氏



なお、当日の様子や、福祉の作文の朗読、福祉協力校の活動報告などを動画で編集し、YouTubeの玉城町社協チャンネルで公開予定ですので、ぜひチャンネル登録をして公開をお待ちください。

びと たまき人あつまれ！ ～冬の音楽祭～

音楽を通じ、たまきの人たちがつながってほしいという思いを込め、音楽祭を開催いたします。お誘いあわせの上ぜひお越しください。

【日 時】令和6年2月11日(日)

13:50～15:30

(開場 13:30)

【場 所】玉城町保健福祉会館
ふれあいホール

【出演団体】玉城わかば学園 和太鼓クラブ
リハビリBAND
たまき人バンド



ご寄付ありがとうございました。(10月～12月)

UAゼンセン ミマス労働組合様…… 20,000円

京セラドキュメントソリューションズ株式会社様

京セラドキュメントソリューションズ株式会社

労働組合様

京セラドキュメントソリューションズ株式会社

玉城工場社員一同様… 121,453円



ギャラリーボナール 前田珠男様…… 70,000円

元氣バス募金…… 100,441円

玉城町社会福祉協議会の 情報を発信中!!

ホームページ

YouTube チャンネル

フェイスブック



身近な社協の相談窓口ご案内

なんでも相談 (予約不要)

【日 時】毎月10日、30日 13:00～15:00

【場 所】玉城町保健福祉会館にて

【相談員】民生児童委員、人権擁護委員、行政相談員